

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	学年	2年	類型	ビジネス・カレッジ
教科書	現代高等保健体育改訂版(大修館書店)			副教材	現代高等保健体育改訂版ノート(大修館書店)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点			
				①	②	③	④				
1 学期	4	体づくり運動	・集団行動回体ほぐしの運動回体力を高める運動	◎	○			学習のねらい 年間を通して体ほぐし運動では、手軽な運動や各種の体力を高める運動を行い、体力の向上を図る。 球技では、ゲームや練習の時に、チームの課題や自分の力に応じて運動の技能を高め、作戦を立てて攻撃や守備の技能を高める。 長距離走では、自分に適したペースで長い距離を走ることができるようにし、また、自己記録の更新を目指す。 体育理論では、普段の生活の中で計画的に運動を実践していく考え方や方法を身に付ける。			
				5	球技 I バドミントン バレーボール	個人的技能 ・グリップとストローク ・クリアー ・ドロップ ・サービス・パス ・レシーブ・トス ・スパイク・ブロック	集团的技能 ・ホームポジション ・スパイクレシーブ ・三段攻撃 ・時間差攻撃		◎	○	
									◎	○	
									◎	○	
	6	体育理論	1 スポーツの技術と戦術 2 球技の上達過程と練習	○		◎					
	7	体づくり運動・ダンス	・リズムに乗った運動 ・現代的なリズムのダンス	◎	○				学習の目標 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を育てる		
				◎	○						
2 学期	8	体づくり運動・ダンス	・リズムに乗った運動 ・現代的なリズムのダンス	◎	○						
				9	球技 I バドミントン バレーボール	個人的技能 ・サービス ・リア・フロントコートからのショット ・レシーブ・トス ・スパイク・ブロック	集团的技能 ・ルールと審判法 ・フォーメーション ・ルールと審判法 ・フォーメーション	◎	○		
								◎	○		
	10	体育理論	3文化としてのスポーツ 4オリンピックと国際理解	◎		○		①関心・意欲・態度 自ら進んで運動をし、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 公正・協力・責任等の態度を身に付け、健康・安全に留意して運動ができる。			
	11	球技 II サッカー バスケットボール	個人的技能 ・パス・トラッピング ・ドリブル ・シュート ・ヘディング ・フェイント ・パス・キャッチ ・ドリブル・シュート	集团的技能 ・速攻・遅攻 ・セットプレー ・速攻 ・セットオフense ・マンツーマンディフェンス ・ゾーンディフェンス	○	◎		②思考・判断 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の仕方を考え工夫している。			
					○	◎					
12	体育理論	5体カトレーニング 6運動やスポーツでの安全の確保			◎	○	③運動の技能 能力と運動の特性に応じた課題解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。				
3 学期	1	陸上競技	長距離走 ・ペース走 ・校外走 ・インターバル走 ・記録測定	○		◎		④知識・理解 運動技能の構造と運動の学び方や体力の高め方を理解し、知識を身に付けている。			
				○		◎					
	2	球技 II サッカー バスケットボール	個人的技能 ・ボールコントロール ・ボールコントロール	集团的技能 ・ルールと審判法 ・ルールと審判法			○	◎	備考		
3	球技 II サッカー バスケットボール	個人的技能 ・ボールコントロール ・フェイント ・シュート・フェイント	集团的技能 ・ルールと審判法 ・フォーメーション ・ルールと審判法			○	◎				

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断 ③：運動の技能 ④：知識・理解

◆学習方法のポイント

- 全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、また基礎体力の向上を図ることを第一の目標とします。
- 周囲の人たちと協力して練習したり、試合をします。
- 「健康」について考え、コントロールする能力を身に付けます。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1時間の授業の流れは、次のようになります。
 - ①集団行動・準備運動・補強運動・ランニングを行います。
 - ②主運動(メインの運動種目…バレーボールなど)を行います。
 - ③整理運動を行います。
- 種目の個人・集団的技能を学ぶことが基礎・基本です。
- 周囲と協力して活動し、お互いに評価し、次の活動に役立てます。
- 健康管理に気を付け、怪我などをしないように運動します。

【家庭学習】

- テレビのスポーツ中継などを興味を持って観戦すると、ルールや練習方法の参考になります。

【定期考査】

- 実施していません。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①スキルテスト及び実技テスト ②授業への取り組みのようす ③運動技能の習得状況 ④ノート・レポートの提出状況	
評価の基準	1 学期	・評価の観点は、①関心・意欲・態度、②思考・判断、③運動の技能、④知識・理解の四つの観点で総合的に評価します。 ・出席状況、スキルテスト及び実技確認テスト、行動観察(チームへの貢献度、授業に取り組む態度)等を総合的に判断します。
	2 学期	・評価の観点は、①関心・意欲・態度、②思考・判断、③運動の技能、④知識・理解の四つの観点で総合的に評価します。 ・出席状況、スキルテスト及び実技確認テスト、行動観察(チームへの貢献度、授業に取り組む態度)等を総合的に判断します。
	3 学期	・評価の観点は、①関心・意欲・態度、②思考・判断、③運動の技能、④知識・理解の四つの観点で総合的に評価します。 ・出席状況、スキルテスト及び実技確認テスト、行動観察(チームへの貢献度、授業に取り組む態度)等を総合的に判断します。
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均